

終末の工夫

「心のノート」の効果的な活用 ①読む

こんな気持ち
になったこと
あるよ。

もっとあるのかもしれないな。

このことには気づ
かなかったな。



6年「絶望の中で見つけた光」～命の尊さ～

「心のノート」の効果的な活用 ②書く

いつも私たちのために
いろいろしてくれて、
いるんだな。

家族にありがとうを
伝えたいな。



4年「おばあさんのおむかえ」～大切な家族をおもう心～

「心のノート」の読み合わせでは、主題について、改めて認識させることができる。また「心のノート」への書き込みをすることで、指導内容に沿って、自分の思いを表現することができる。

ゲストティーチャーによるお話

栄養教諭：みなさんの健康や栄養バランスなどを考えて、毎日、一生懸命作っています。



2年「おいしいきゅうしょく」
～いつもありがとう～

用務員：みなさんが気持ちよくすごせるように頑張っています。



1年「がっこうのようむしゅじさん」
～お世話になっている人～

給食センターで働いている栄養教諭や、野菜の生産者の方たち、学校の用務員さんなどに、直接お話しをしてもらうことで、より一層、資料の世界や、指導したい内容が身近なものとなり、興味・関心を高めることができる。

高齢者介護施設栄養士の保護者：
入所されている方々、一人一人のことを考えながら働いています。



5年「ボランティアクラブに入って」
～人に奉仕する喜び～

出産後の保護者：これぐらいの
大きさの赤ちゃんがうまれる
んですよ。



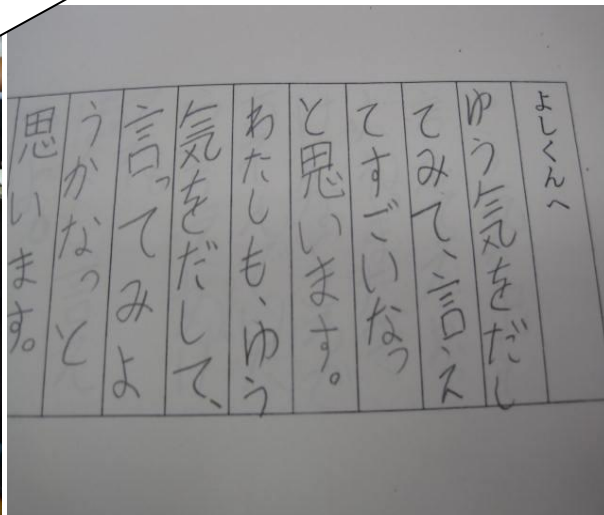
1年「あかちゃんがうまれるよ」
～うまれるってすごいな～

ゲストティーチャーの思いや経験にふれることで、より実感をもって、指導内容をとらえ、児童一人一人が自分の中の心を見つめることができる。

手紙の活用 ①書く

わたしだったらこうするよ。

ぼくも同じ気持ちになったよ。



1年「よりみち」

～よいと思うことを、勇気をもって～

2年「水のこうえん」

～勇気を出して～

資料の主人公や地域の人や家族への手紙を書くことで、感じたことや思ったこと、これからのことなどについて、改めて考えをまとめ深めることができる。

手紙の活用 ②読む

家族に何かしてあげたいな。

こんなことを思ってくれていたんだな。



3年「プレゼント」～温かい家族～

家族や地域の人などからの手紙を読むことで、相手の気持ちを知ることができるだけでなく、家庭や地域との連携も図ることができ、児童の心に響くものがある。

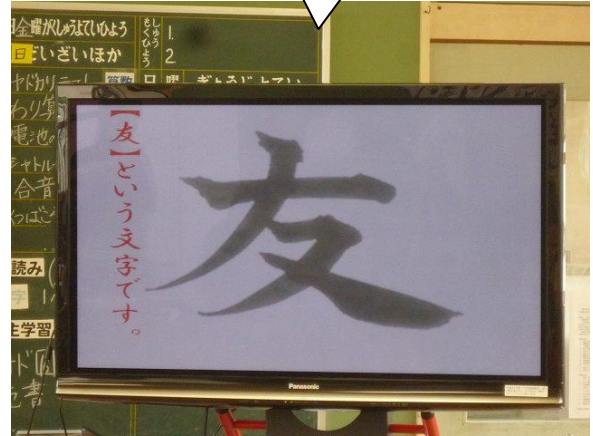
映像・CM・格言・詩・ことわざの活用

この詩は、今日の話と似ているな。



4年「『正直』五十円分」～正直に生きる～

友だちって大切なんだな。



4年「貝がら」～通じ合う心～

主題に関係することわざや四字熟語、詩、心のノートのメッセージなどをプレゼンテーションとして提示することで、本時の振り返りへとつなげたり、児童の心の中に残すことができる。

自分たちはどうかな？



6年「愛の日記」
～誰に対しても公平に～

こんなこと感じたことあるな



5年「心にうたえる音楽を目指して - 梯 剛之 -」
～夢を実現するために～

児童の写真とメッセージを合わせたプレゼンテーションを提示することで、児童が自分と資料の主人公、学習した内容を重ね合わせて考えることができる。

児童作文・日記の活用

家族愛の作文コンクールの
作文を読みます。



4年生「おばあさんのおむかえ」
～大切な家族をおもう心～

〇〇さんの日記を読みます。



5年生「ボランティアクラブに入って」
～人に奉仕する喜び～

主題に近いような経験や気持ちが表現された児童の作文や日記を紹介することで、資料や話し合いから学んだことや指導したい内容をより自分たちの身近なものとして感じ取ることができる。